

# チームけせんの和



## だより

2015

vol.8

12月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字鳴石42-5 TEL 0192-54-2111 FAX 0192-55-6118



### チームけせんの和に寄せて

なごみの家小規模多機能型居宅介護事業所 所長 菅野 憲明

なごみの家小規模多機能型居宅介護事業所の菅野と申します。宜しく  
お願い致します。

当事業所は平成25年3月1日、陸前高田市をはじめ関係機関及び地  
域の皆様のご理解とご協力を賜り、新規事業所を開所しております。高  
寿会の事業所ではありますが、初めての小規模多機能事業に不慣れな為、利用者皆さんや地域の方々、  
市役所担当の方々に大変なご迷惑をお掛け致しましたが、何とか事業を継続させて頂いております。

小規模多機能型サービスの経緯は、1980年代に従来の施設ケアに疑問を抱き、支援を必要  
としている身近なお年寄りを民家など小規模な環境の中でケアするという動きが草の根的に始ま  
りました。例えば自宅を開放したり、公共施設を借用して始まったケアのスタイルが「宅老所」  
と呼ばれるようになりました。

宅老所は住み慣れた地域・家族と共に小規模で家庭的な雰囲気の中でケアを実践する。宅老所  
の中には、「通い」を中心に「宿泊」や「訪問」などの機能を介護保険事業と自主事業とを組み合  
わせて提供する事業所も登場し「小規模多機能ホーム」と呼ばれるようになっていきます。

宅老所が実践してきた自宅や地域にこだわった支援のあり方は「生活の継続性を維持するた  
めの新しい介護サービス体系」として、在宅で24時間365日の安心を提供する切れ目のない在  
宅サービスの提供を目的に「小規模・多機能サービス拠点」として取り上げられ、2006年（平  
成18年）の介護保険法改正で「小規模多機能型居宅介護」として制度化されています。

当事業所開所以来「従来の施設ケアからの脱却」「従来の固定観念からの脱却」を目標に取り組  
んで参りましたが、震災後の大きな問題である事業所の人員体制が十分な状態でないことが大き  
く影響し、思うようなケアの実践が十分に図れていないのが現状です。また、業務に追われる日々  
で対外的な活動や会議等にも参加できない状態も継続しています。「陸前高田の在宅医療を支える  
会」にもご協力できなく大変申し訳ありません。

現在、当事業所の大きな課題の一つに「住環境の変化」があります。仮設住宅から自宅再建へ  
と生活環境が大きく変化したことによって「自宅を認知できない」「徘徊」「認知症進行」「家族間  
不和」「不安状態」等の問題に直面しています。想定していたことではありますが、事業所と家族  
の対応だけでは解決できない問題であり地域コミュニティや多職種の方々の協力・連携が不可  
欠となっています。

自分の言い訳「業務に追われる日々で対外的な活動に参加できない」からの脱却が必要であり「陸  
前高田の在宅医療を支える会」の活動協力を図りながら、より良いケアに努めて参りたいと思  
います。宜しくお願い致します。

## 「チームけせんの和」に寄せて

あすなるホーム 施設長 西 條 一 恵

あすなるホームは、高田町の東和野（高寿園の隣）にあり、障がいや難病の方（40人程）が、自宅やグループホームから通所して働いている施設です。

主な仕事は、菓子製造・販売、わかめ・レタス・ゆず等の加工作業、エコ平板作業、ふるさと納税の梱包作業をしています。

震災時は、施設が高台にあったため津波は免れましたが、壁のひび割れや駐車場の亀裂が大きく大変怖い思いをしました。あの大きく長い揺れに皆驚きましたが、利用者は、パニックをおこす人もなく、職員とともに安全なところに避難し、家族が迎えに来るまで（3月末）施設で過ごしました。4月以降は今までやっていた作業が水や材料がないためにできなかつたり、販売先がなくなつたり、企業からの受託の仕事もなくなつたりして大変困った時期もありました。しかし、今では、震災前のように菓子を製造して訪問販売もでき、新しい企業からの受託作業も見つかり、毎日、作業に取り組んでいます。



### ドーナツの形成作業

リングやツイスト、  
あんドーナツの形を  
作っています。

また、昨年度は5名の方が一般就労することができました。企業の皆様の障がいへの理解が進んでいることを感じています。本人が長く勤められるように今後も企業と連絡をとりながら支援を続けていきたいと思えます。

私たちが以前のように元気に活動できるのは、高田の皆さんをはじめ、全国の方々に励ましの言葉や色々な支援を受けてきたからです。心より感謝しております。今後も販売等で私たちを見かけた時は、声をかけていただければ幸いです。誰でも気軽にお越しいただける施設でありたいと思っています。

### エコ平板が設置されている施設へ

エコ平板とは、セメントを型に入れ、自然石やタイルで模様を付けたタイルです。一本松にある「ヒョロ松」もあすなるホームで作成いたしました。

この日はピバ南三陸に設置されたエコ平板をみんなで見学に行きました。



## チームけせんの和に寄せて

かよるか  
通岡デイサービスセンター 所長 千葉伸一



通岡デイサービスセンターで管理者をしております千葉といいます。当事業所は2013年の10月に開業した新しい事業所です。場所は三陸道通岡インターから、45号線を高田方面に1kmほど下ったところにあります。

当デイサービスでは、自然の素材を多く利用したものづくり、手芸の活動に力を入れています。ものづくりが得意な方も、今まであまり経験がないという方も、自分で作る喜びを感じながら、熱心にとりくまれています。

今年は、自然環境を利用した活動にも力をいれています。天気の良い日には、できるだけ野外に出て、野菜・花の栽培、収穫物でのおやつづくりなど、季節にそくした活動をおこなっています。利用者みなさんは、長年豊かな自然に囲まれて暮らしてきてただけに、豊富な知識と経験をお持ちであり、われわれスタッフの方が教えられながら共に活動をしています。今後ご利用者の方々が、活動の中で楽しみながら、頭と手足を使い、自然なかたちで機能回復してゆくというプロセスを大切にしたいと考えております。

当デイサービスは、一人一人が「変わる」をキーワードに、利用者、スタッフともに新たなことに挑戦し、自己実現する場となることをめざしています。「チームけせんの和」において、様々な領域の方々の経験を学び、交流することは非常に有益なことであると思います。今後ともよろしくおねがいいたします。

### チームけせんの和 活動報告

H27年10月22日

平成27年度 第5回研修会（34名参加）

テーマ

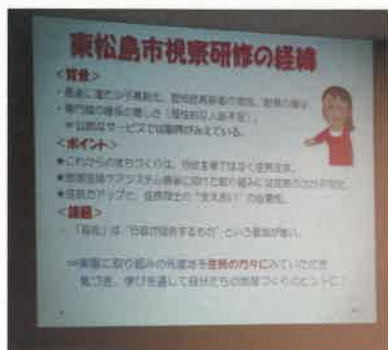
視察研修報告 宮城県東松島市「ささえあいのまちづくり」

報告者 陸前高田市地域包括支援センター 奥村 真以子

事例検討 1事例（高寿園 指定居宅介護支援事業所）



奥村真以子社会福祉士より「東松島視察について」の研修報告がありました。また、出席者全員で「高寿園居宅介護支援事業所」の伊藤ケアマネジャーが提供して下さった事例の検討を行いました。認知機能の障害がある独居の高齢女性の事例でしたが、医療／介護／福祉の専門家だけではなく、病气や障害を抱えながら自宅で一人で暮らす方を地域の皆でどう支えるか、参考になった事例でした。



## ★劇団ばばば☆ 公演報告★

劇団ばばば☆は、11月22日にコミュニティホールで開催された「健康のつどい」のステージで、第2弾となる演目「健康長寿はお口から！」のお披露目公演を行いました。陸前高田市歯科医師団の皆さんと岩手県歯科衛生士会気仙支部の皆さん総出で、脚本、演出、アドバイザーだけでなく、俳優としても大活躍してくださいました。3.6歳児の虫歯率は、岩手県は全国でワースト2位、陸前高田市は岩手県でワースト1位だそうです。また、歯や口の問題は、認知症

(注)麻酔成分が入っており、一時的に痛みがなくなりますが、治癒わけではありません。



や脳卒中、心臓病など、全身疾患にもつながります。今後もできるだけ多くの方々に寸劇を観ていただき、陸前高田市が虫歯率ワースト1から脱却し、気仙地区に健康長寿の文化を広げていきたいですね。



## 「チームけせんの和」寸劇団ばばば☆

### チームポロシャツ&のぼり旗お披露目

鎌田寛先生には平成24年11月から4回に渡りチームけせんの和の研修会や市民講座の講師としてボランティアで参加していただいております。平成27年5月30日にやっと講師料をお支払いすることができましたが、その後、鎌田寛先生から10万円の寄付があり、「チームけせんの和」に役立ててほしいとの話をいただいたことから、発足していた劇団ばばば☆の活動費として活用させていただくことになりました。

いただいた寄付金で、劇団の広報、目印、団員の結束力の向上のため、のぼり旗、チームポロシャツを作成しました。揮毫を鎌田先生にお願いしたところ快諾いただき、デザインは劇団員の意見を参考に作成しました。

今後ものぼり旗を掲げチームポロシャツを着て地域に出向き、健康に関する市民啓発に努めていきます。



### 編集後記

怖いくらい暖冬の、師走12月を迎えました。今年こそは寒くなる前に窓拭き諸々の大掃除をしよう！と、心で決めつつもこうも暖かい日が続くと、また明日に日延べする弱い自分がいます。2015年の残された日はわずかになってしまいました。思い立ったが吉日！さあ！今からがんばっぺし！来年こそ段取り良く邁進したいものですね。本年も、会員の皆様方にはたいへんお世話になりました。来年もよろしくお祈りします。

※この会報は、市からの補助金で作成しました。